

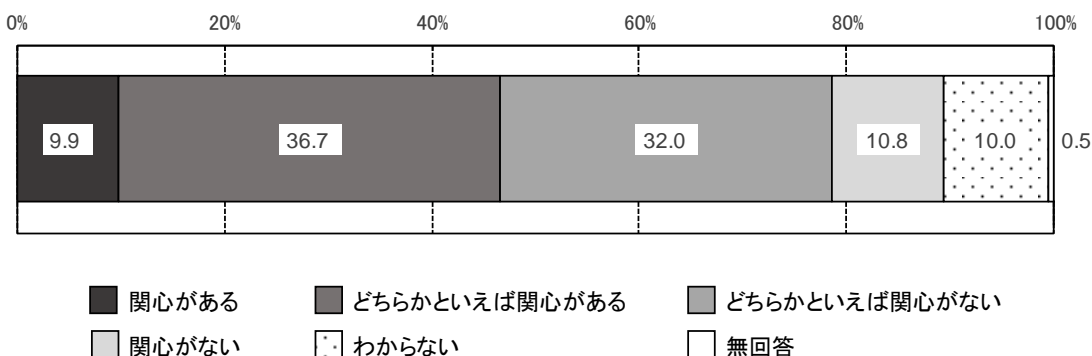
問9 県事業への関心の有無

問9 あなたは、岐阜県が行っている事業やその進め方について、関心をお持ちですか。
(1つだけ)

全体(図9-1)で見ると、「どちらかといえば関心がある」が36.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば関心がない」(32.0%)、「関心がない」(10.8%)の順となっている。

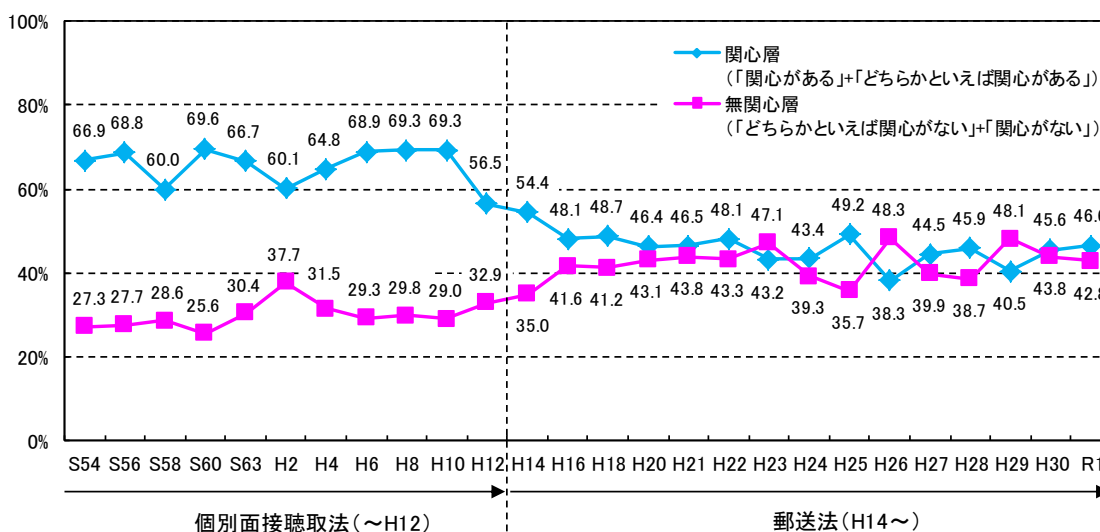
図9-1 県事業への関心の有無

回答者数(n = 1,488)



経年変化(図9-2)で見ると、平成22年までは「関心層」(「関心がある」+「どちらかといえば関心がある」)が「無関心層」(「どちらかといえば関心がない」+「関心がない」)より高く、平成23年に逆転して以降は「関心層」と「無関心層」が逆転を繰り返している。平成30年に「関心層」が「無関心層」より高くなり、令和元年は、前年より「関心層」が1.0ポイント増加し、「無関心層」が1.0ポイント減少しており、引き続き「関心層」が「無関心層」を上回っている。

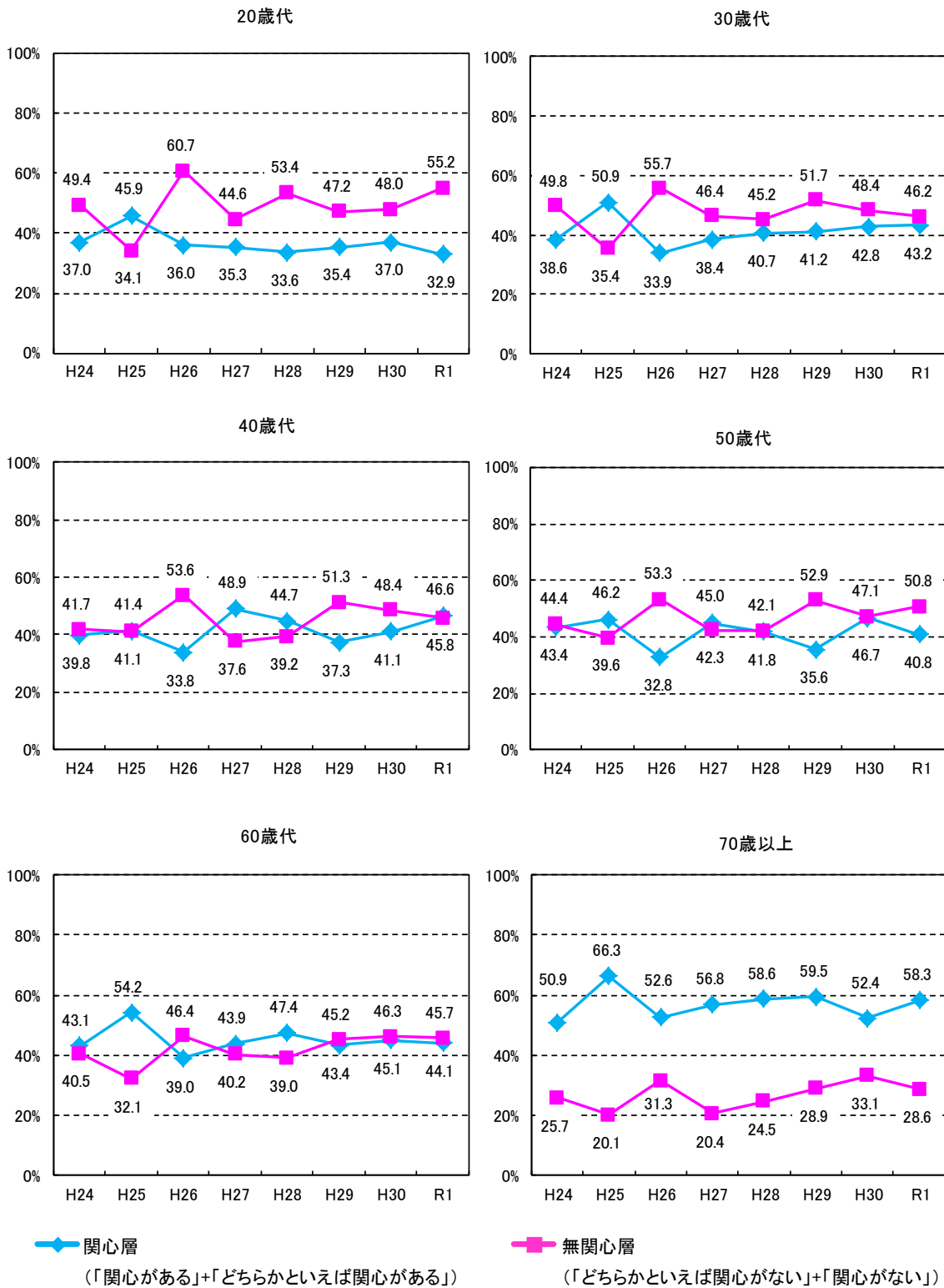
図9-2【経年変化】県事業への関心の有無



※ 調査方法:平成12年度まで個別面接聴取法、平成14年度から郵送法

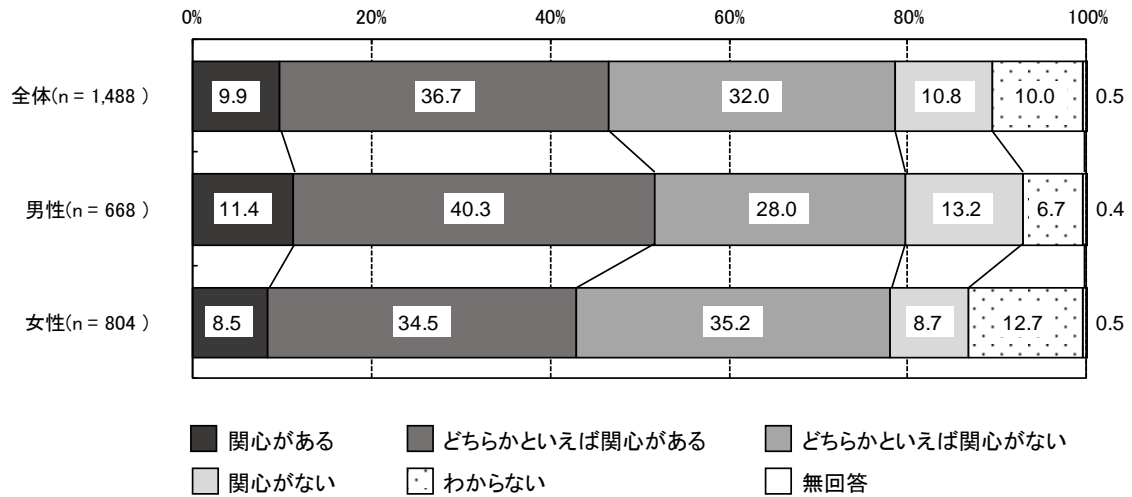
年代別の経年変化（図9-3）でみると、20歳代、50歳代、60歳代では、前年より「関心層」が減少し、特に20歳代では32.9%と最も低くなっている。70歳以上では一貫して「関心層」が「無関心層」より高くなっている。

図9-3【経年変化(年代別)】県事業への関心の有無



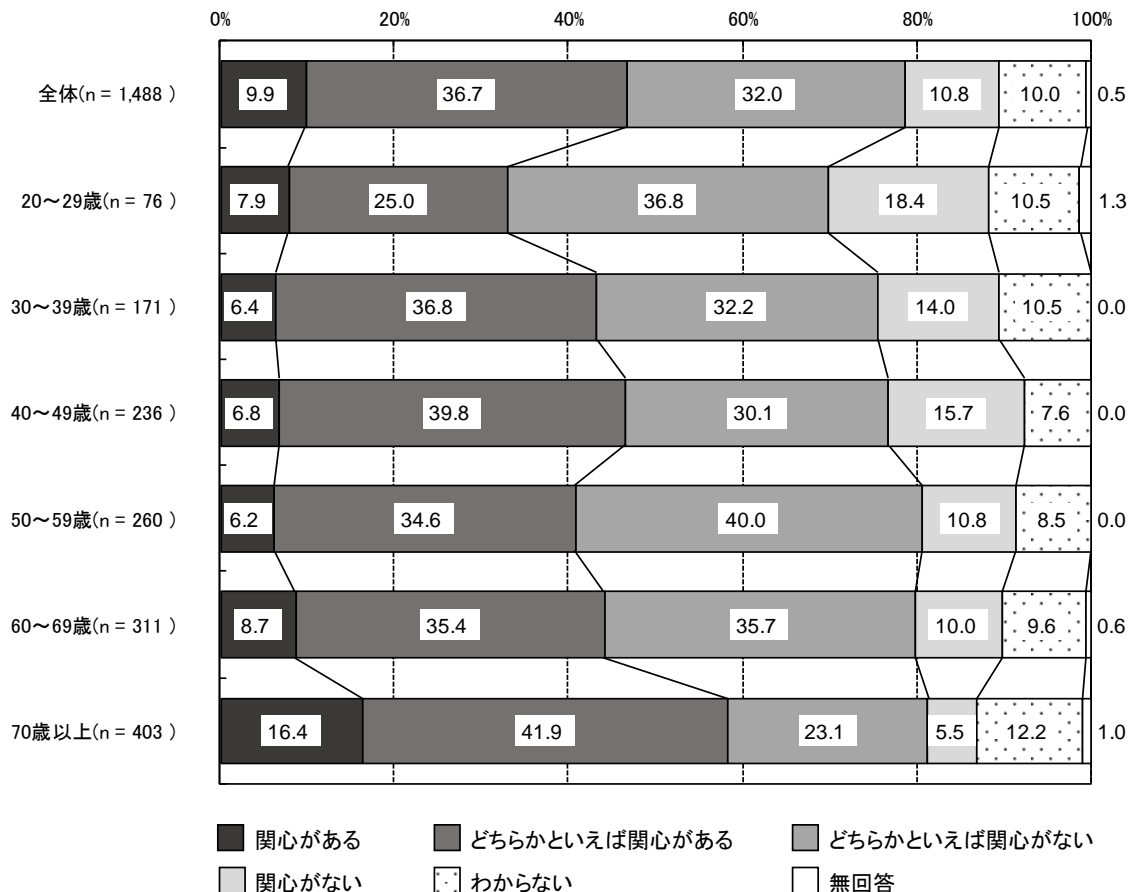
性別（図 9-4）でみると、男性は「どちらかといえば関心がある」が最も高く、女性は「どちらかといえば関心がない」が最も高くなっている。「関心層」（「関心がある」+「どちらかといえば関心がある」）では、男性が女性より 8.7 ポイント高くなっている。

図 9-4 【性別】 県事業への関心の有無



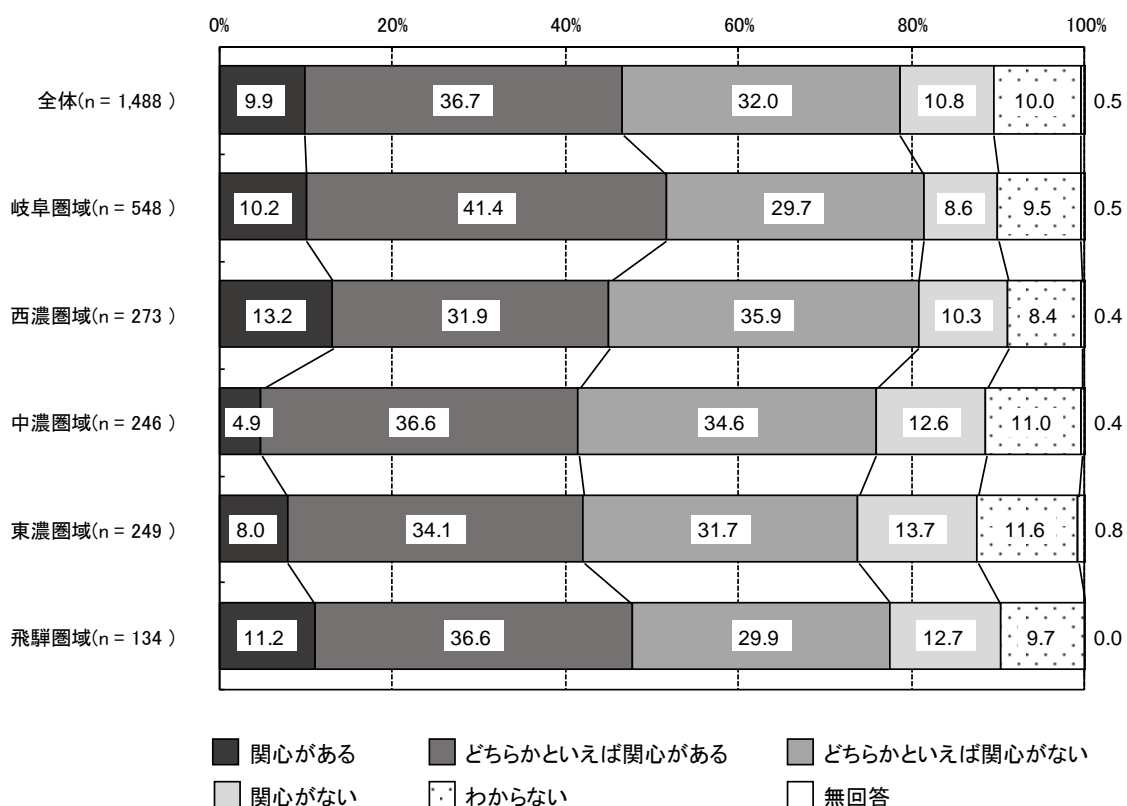
年代別（図 9-5）でみると、30 歳代、40 歳代、70 歳以上で「どちらかといえば関心がある」が最も高く、20 歳代、50 歳代、60 歳代では、「どちらかといえば関心がない」が最も高くなっている。

図 9-5 【年代別】 県事業への関心の有無



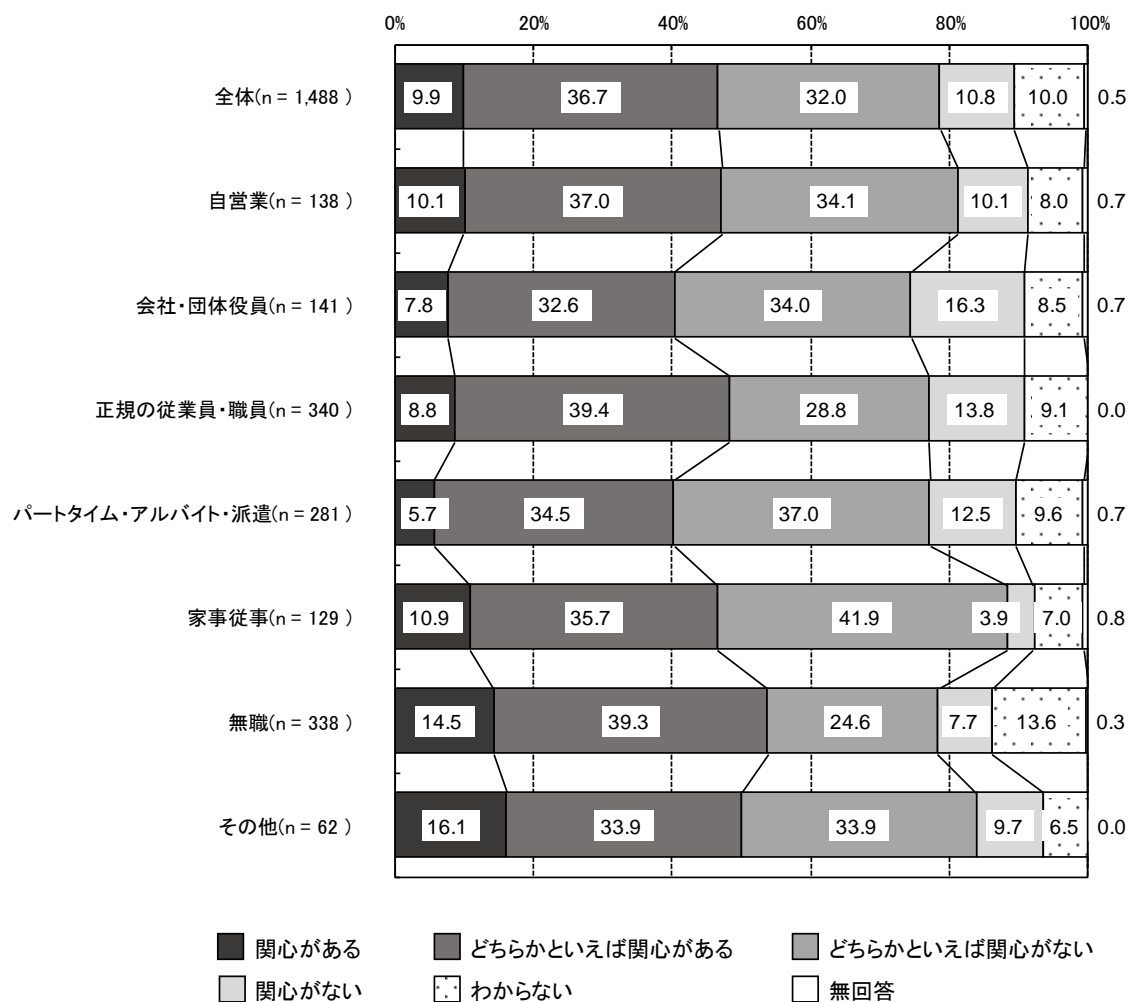
居住圏域別（図 9-6）で見ると、西濃圏域を除くいずれの圏域においても「どちらかといえば関心がある」が最も高く、そのうち岐阜圏域が 41.4%と最も高くなっている。西濃圏域においては、「どちらかといえば関心がない」（35.9%）が最も高くなっている。

図 9-6 【居住圏域別】 県事業への関心の有無



職業別（図9-7）で見ると、自営業、正規の従業員・職員、無職では「どちらかといえば関心がある」が最も高く、会社・団体役員、パートタイム・アルバイト・派遣、家事従事では「どちらかといえば関心がない」が最も高く、その他では「どちらかといえば関心がある」と「どちらかといえば関心がない」が同率になっている。

図9-7 【職業別】 県事業への関心の有無



※ その他には、自由業、学生を含む。